

記録映画研究会試写会と展示企画案

■ 企画内容：

岩波映画「佐久間ダム第1部」が公開されたのは1954年、戦後復興から高度経済成長へと向かう時代でした。その時この映画は日本全国で300万人が、映画館で、職場で、学校で、老いも若きも見たといられています。この第1部の原版は総集編製作のため失われてしまったが、記録映画を愛する研究者や関係者が、現存していた第1部を改めて鑑賞し、その秘密を話し合う上映会を開催。併せて佐久間ダムに関する、ポスター、絵画、写真などを展示する

■ 上映会：岩波映画「佐久間ダム第一部」1回（25名まで）

*参加は研究者、映像関係者のみ 入場無料

■ 日時：2009年4月24日（金）18時～（当時のカメラマン解説つき）

■ 展示資料期間 4月24日5月15日（金）まで 入場無料

午前11時～午後6時（平日のみ開催）

ビデオブースで「佐久間ダム」視聴可（予定）

■ 場所：東京都中央区銀座2-11-16

21インコーポレーション内、1階ギャラリー

■ 主催：記録映画保存センター

■ 問い合わせ：記録映画保存センター（電話03-3222-4249）へ。

展示企画：岩波映画「佐久間ダム」の水脈展

—ダムをめぐるドキュメンタリーとルポルタージュの諸相—（仮）

1 水源——戦前の小説やルポルタージュに描かれたダム問題

○井伏鱒二「朽助のゐる谷間」、○石山賢吉『庄川問題』、○石川達三『日蔭の村』

2 乱流——ダム反対運動の記録

桂川寛「立ち退く人々」、スケッチブック、「週刊小河南」コピー、○桜川直子「基地電源
〈日本最大佐久間ダム建設現場部落〉」、○小山いと子『ダム・サイト』論争

3 奔流——ダムを記録して次のダムをつくる

利根山光人「佐久間ダム」シリーズ、小村静夫「佐久間ダム」スチル写真、岩波映画「佐
久間ダム」映像（ループ再生）

4 放流——「佐久間ダム」からの流れ

記録映画「くろよん」（関西電力）関連資料、木本正次『黒部の太陽』

企画構成：鳥羽耕史

展示場所：株式会社 21 インコーポレーションギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-11-16